令和４年３月１日

群馬大学共同教育学部附属中学校
保　護　者　様

群馬大学共同教育学部附属中学校
校　　長　　上　原　　永　次
（公　印　省　略）

令和３年度　第２回学校評価　生徒・保護者アンケート結果について

早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また日頃より本校の教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

さて、令和４年２月１日～１６日に、生徒・保護者を対象にした学校評価に関わるアンケートを実施しました。アンケートの回収率は、生徒９５％、保護者８７％でした。ご多忙の中ご協力いただきありがとうございました。

つきましては、別紙の通り、結果をまとめましたのでご覧ください。

１　学校評価について

本校では、次のように学校評価を実施しています。

（１）生徒・保護者を対象とするアンケート調査を行う。
（２）アンケート集計結果や自由記述の内容を基に、教師による自己評価を行う。
（３）教師による記述式の「反省と要望」という形式で、「次年度への改善と方針」を明らかにする。

10 月に実施しました第１回のアンケート結果を参考に、その後、教育活動に取り組んでまいりました。今回のアンケートは、今年度２回目の実施になり、第１回のアンケートを踏まえた改善策の評価、この一年間の教育活動の評価の参考とします。

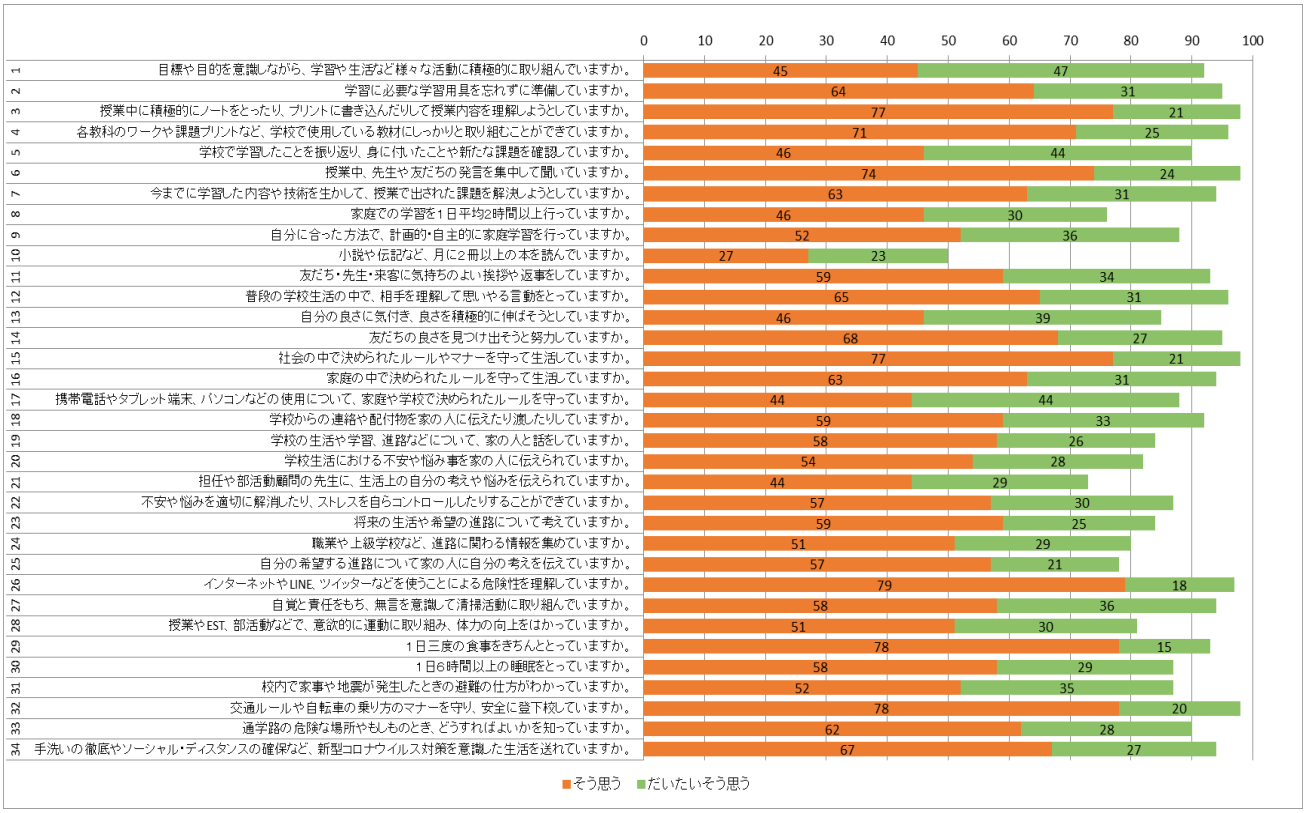
２　資料の見方

（１）グラフの資料は、アンケートの回答の「そう思う」・「だいたいそう思う」・「あまりそう思わない」・「そう思わない」・「わからない」のうち、「そう思う」・「だいたいそう思う」の合計の割合をまとめたものです。

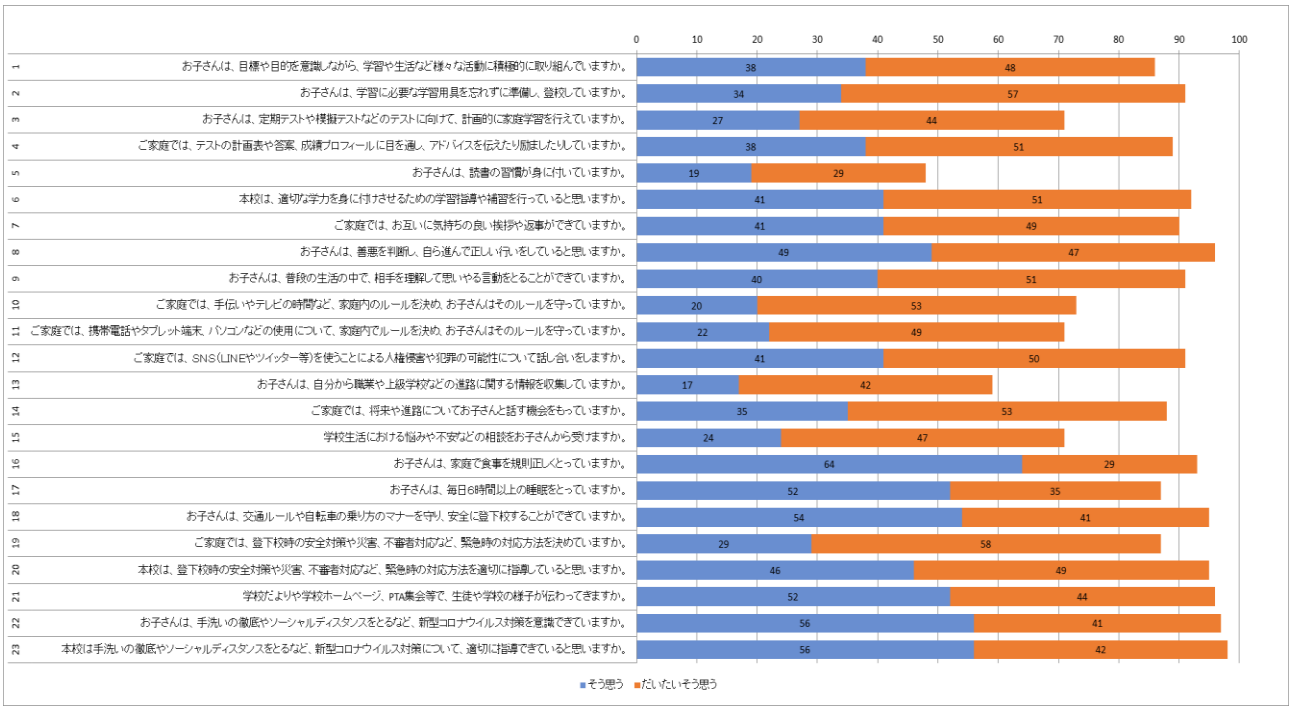
（２）別紙の資料は、第１回のアンケートで「そう思う」・「だいたいそう思う」の合計の割合が低かった項目（70%以下）について、＜生徒＞と＜保護者＞に分け、第１回からの変化や改善に向けての方針、ご協力のお願いなどについてまとめています。

（３）最後に、保護者アンケートの自由記述欄にお書きいただいたご意見・ご感想の中から、回答が可能なものについてまとめました。

令和３年度第２回学校評価アンケート＜生徒＞２月実施



令和３年度第２回学校評価アンケート＜保護者＞２月実施



「そう思う」・「だいたいそう思う」の合計の割合が低かった項目の変容（第１回→第２回）

＜生徒＞

質問 10「小説や伝記など、月に２冊以上の本を読んでいますか。」５１％→５０％

→第１回のアンケートと比較すると、ほぼ変化がありませんでした。現在、図書委員会が「学級文庫で本を身近に！」と題し、生徒が本に触れる機会を増やす企画を実践中です。また、図書便りを定期的に発行し、図書室の新刊や図書委員のおすすめの本を紹介し、読書啓発を行っています。文部科学省の HP によると、「読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」とされています。今後も教員からの働きかけや図書委員会の活動を通して、生徒が本に親しみ、本に触れる機会が増えるように活動を継続していきます。

質問 20「担任や部活動顧問の先生に、生活上の自分の考えや悩みを伝えられていますか。」６８％→７３％

→第１回のアンケートと比較すると、５ポイント上昇しました。定期教育相談に限らず、日々の生活記録ノートや授業時間等のすべての教育活動を通して、生徒の考えや思いに寄り添いながら支援を行ってきました。今後も、定期教育相談はもとより日々の教育活動全般を通して、生徒との対話を重視し、支援する姿勢で臨んでまいります。

＜保護者＞

質問 5「お子さんは、読書の習慣が身に付いていますか。」４７％→４８％

→第１回のアンケートと比較すると、１ポイント上昇しました。上記のとおり、今後も生徒への読書啓発活動を継続していきます。ご家庭におかれましても、話題となっている本や興味のある本を一緒に読んだり、定期的に本を読む時間を設けたりするなど読書の習慣付けを図り、読書に対する興味や関心を引き出すような働きかけを引き続きお願いいたします。

質問 13「お子さんは、自分から職業や上級学校などの進路に関わる情報を収集していますか。」５７％→５９％

→第１回のアンケートと比較すると、２ポイント上昇しました。３年生は受験期になり、進路への関心が高まったり、２年生では上級学校調べ、１年生では総合的な学習の時間で「働くこと」について学んだりして進路に対する意識が高まったためと考えられます。生徒が自分自身を理解しながら将来を主体的に選択できるよう、今後も学校ではキャリア教育を推進してまいります。ご家庭でも保護者の皆様の経験や考え等を伝えていただき、お子さんと保護者の考えを共有する機会を設けるなど、お子さんが自主的に進路を選択し、自分の生き方を考えながら自立することができるようご支援いただけますようよろしくお願いいたします。